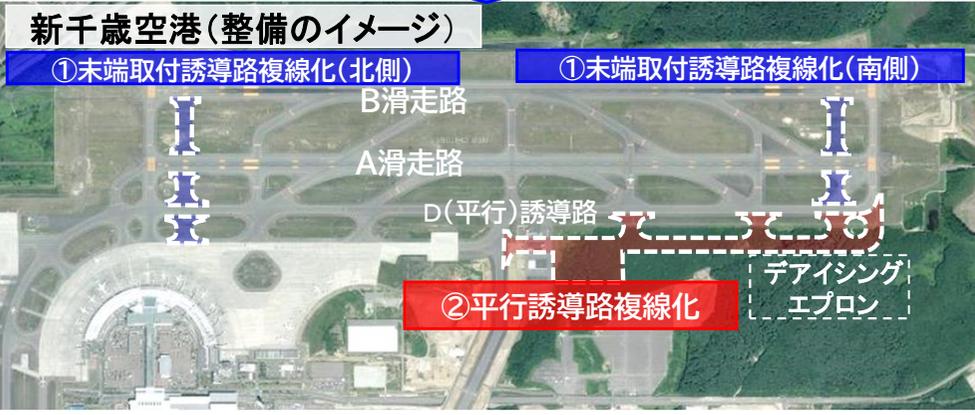


# 施策3. 世界水準の観光地の形成

## (1) 国内外旅行者の受入環境整備

### ○移動・周遊を支える交通ネットワークの整備

新千歳空港では、除雪作業や航空機のトラブル等による滑走路の一時占有に起因する遅延や欠航が課題となっています。このため、誘導路複線化事業を実施し、冬期の航空機の安定運航を図るなど、国内外旅行者の受入環境整備に取り組めます。



【末端取付誘導路複線化 施工状況】

### [今年度の実施 (完了) 状況]

- 誘導路複線化等の整備に向け、今年度予定していた工事、調査設計は概ね完了。
- 引き続き、早期整備に向け事業進捗を図る。

# 施策3. 世界水準の観光地の形成

## (2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

### ○ドライブ観光の推進

コロナ禍における、道内や国内の観光需要の早期回復に向け、国内に類を見ない雄大な自然等を生かしたドライブ観光を推進するとともに、地方部への周遊を促進するため、道の駅整備に加え、観光地案内やエゾシカ衝突マップの配布などの道路情報提供の充実等に取り組みます。

【利用環境向上に向けた道の駅整備】

【「エゾシカ衝突注意マップ」の作成】



### 【今年度の実施（完了）状況】

- 令和5年度はエゾシカ衝突注意マップを作成し、ドライブ観光を推進。
- 引き続き、自治体や「道の駅」管理者と道の駅に求められる防災や観光、福祉など多様な社会ニーズへの対応に向けた意見交換を行う。

# 施策3. 世界水準の観光地の形成

## (2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

### ○ 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

地域資源を最大限に活用した美しい景観づくり・活力ある地域づくり・魅力ある観光空間づくりを目指し、「支笏洞爺ニセコルート」「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」「空知シーニックバイウェイ-体感未来道-」(候補ルート)の活動団体と協働した取組を推進します。

また、「世界水準」の観光地形成に向け、地域の活動団体がお薦めする魅力ある景観を有する道路を選定し、景観の維持・形成や誘客に向けた広報等を重点的に実施する、シーニックバイウェイ「秀逸な道」を令和3年度から本格的に展開しています。

#### 「秀逸な道」

札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート  
(国道230号札幌市南区定山溪国有林L=10km)



「秀逸な道」の看板を設置  
【国道230号「森を抜ける公園のような道」】



支笏洞爺ニセコルートウエルカム北海道エリア  
(国道453号千歳市幌美内国有林L=9km)



「秀逸な道」の看板を設置  
【国道453号「支笏湖ブルーに出逢う道」】



#### 支笏洞爺ニセコルートウエルカム北海道エリア



#### 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート



#### 空知シーニックバイウェイ-体感未来道-



### 【今年度の実施(完了)状況】

- 支笏洞爺ニセコルート、札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルートの「秀逸な道」を明示する看板を設置。
- 引き続き、活動団体等との連携のもと、地域と協働による取組を推進。
- 空知シーニックバイウェイは、令和6年度のルート指定に向けて、ルート運営活動計画の策定を支援。

# 施策3. 世界水準の観光地の形成

## (2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

### ○サイクルツーリズムの推進

サイクルツーリズムを推進するため、石狩・空知・上川地域の全長約333kmに及ぶ「石狩川流域圏ルート」、石狩・留萌地域の全長約290kmに及ぶ「石狩北部・増毛サイクルルート」において、案内看板や路面表示の設置等により、安全で快適な自転車走行環境を創出。また、道の駅へのサイクルラック設置等の受入れ環境の整備・改善に取り組んでいます。引き続き、自転車利用環境の充実を図るとともに、多様な関係機関との連携のもと、世界水準のサイクリング環境の構築に向けた取組を推進します。



【石狩川流域圏ルート】

【石狩北部・増毛サイクルルート】

### 【今年度の実施（完了）状況】

- 「石狩川流域圏ルート協議会」ではサイクル担当者等でルートの走行環境検証、サイクルツーリズムのPRを目的に、走行会を令和5年10月に開催。
- 「石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会」では基幹ルートの区間設定(ステージ分け)を目的とした検討会を令和5年12月に開催。
- 「石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会」、「石狩川流域圏ルート協議会」と連携し、受入環境の充実、走行環境の改善、情報提供等の取り組みを推進。

# 施策3. 世界水準の観光地の形成

## (2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり



### ○河川空間を活用したツーリズムの推進（「かわたびほっかいどう」プロジェクト）

世界水準の観光地の形成を目指し、四季折々の川の自然環境や景観、水辺活動やサイクリング環境等、河川空間が有するポテンシャルを活用したツーリズムを推進します。

具体的には、川に関する情報の効果的な発信、住民や観光客の水辺利用や周遊のサポート、各地域・分野の関係者間のネットワーク強化による水辺利活用に係るニーズの発掘・マッチングの促進、地域と連携した魅力的な水辺空間の創出等により、地域づくり・観光振興に貢献する取組を推進します。



10周年となる今年は「CHITOSE みらい EXPO」と題し開催。千歳川に面したテラスの設置や川遊び、カヌーに乗った川下り体験などを通して多くの人に楽しんでもらいました。地元高校生による“テラスde茶道”も行われました。



地域の団体により、江別河川防災ステーション地先の河川敷を活用したイベント「シン・エベツ」が開催され、多くの人で賑わいました。



【ダム見学ツアー】

【CHITOSE RIVER CITY PROJECT 2023の様子(千歳市)】  
【今年度の実施（完了）状況】

【シン・エベツの様子(江別市)】

- 地元の団体等が主催する水辺イベントにおいてブースを出展し、「かわたびほっかいどう」、「シーニックバイウェイ」や「わが村は美しくー北海道」運動」の取組をPR。
- バスツアー会社と連携したダム見学ツアーや意見交換会を実施。
- 石狩川流域の河川区間に関する見どころやイベント情報について、「かわたびほっかいどう」公式HP等で情報発信。
- 恵庭市花の拠点かわゾーン地区を「都市・地域再生等利用区域」に指定し、新たな水辺のイベント空間を創出。
- 空知川幾寅地区において、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す「南富良野町かわまちづくり計画」が登録。

# 施策3. 世界水準の観光地の形成

## (2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

### ○滝野すずらん丘陵公園のインバウンド観光の推進

「自然と人・人と人のふれあい」を基本テーマとし、多様なニーズに対応して四季を通じた利用促進を図るため、花フェスタ(チューリップ・すずらん等)、滝野スノーフェスティバル、森の中で音楽やソリ遊びを楽しむ森フェス等様々な野外レクリエーション活動を展開するとともに、快適・円滑に公園を楽しむための環境整備を推進しています。

花フェスタ(花修景施設 カントリーガーデン)



インバウンド観光客の花修景鑑賞(チューリップ・すずらんフェスタ)  
※写真は過年度のもの

滝野スノーフェスティバル(別名:滝野スノーワールド)



イングリッシュガイドツアー(スノーシュー冬季園内散策)  
※写真は過年度のもの



4カ国語によるHPおよびガイドブックの作成



R5広告ポスター(札幌市営地下鉄構内に掲示)

### [今年度の実施(完了)状況]

- 「4カ国語(英語、中国語、タイ語、韓国語)のHPを作成するとともに、4カ国語版ガイドブックを作成、配布」、「翻訳機等による公園案内」等の取組を継続実施。
- 在日外国人の方に公園内の案内標識を確認頂き、標記(ピクトグラムや多言語表記)を検討。次年度以降の変更予定。
- 令和5年度冬季となるホワイトシーズン(12月~翌3月)は、令和5年12月23日から滝野スノーワールドとしてOPEN。
- 札幌市と連携を図り、市営地下鉄駅構内の広告掲示による観光旅行者の来園に向けた働きかけを実施。

# 施策3. 世界水準の観光地の形成

## (2) 世界に通用する魅力ある観光地域づくり

### ○公共空間の利活用による地域の活性化支援

『北海道“みりよく”発信プロジェクト』と題して、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)【北1条エリア】において、道内各地の地域情報やシーニックバイウェイの取組を紹介するポスターの展示やパンフレットなどを配布し、交流の促進を図っています。



道内各地における魅力的な**アクティビティ・自然・異文化体験**を重点に情報発信

ウポポイの魅力  
を情報発信



シーニックバイウェイや  
秀逸な道の取組紹介  
かわたびほっかいどう  
の魅力を情報発信

「北海道”みりよく”発信プロジェクト」を年4回開催。秋の”みりよく”発信では、アジア初となるアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本が開催されることに併せて、道内各地における魅力的な**アクティビティ・自然・異文化体験**について重点的に情報発信を行った。

### 【今年度の実施（完了）状況】

- 「北海道“みりよく”発信プロジェクト」を計4回開催し、地域振興に資する道内各地の「食」や「観光」(イベント)に関する情報や「ウポポイ」、「シーニックバイウェイ」、「かわたびほっかいどう」の情報などを発信。  
計4回の開催時における、延べパンフ配布枚数は、約5万3千枚。
- 令和6年3月18日(月)から「春のみりよく」を開催予定。